

平成 29 年度地域課題研究助成の報告

1. 研究課題名

施設に所属する看護職の社会人基礎力に関する研究

2. 研究代表者及び所属

竹原則子 新潟県立中央病院

3. 研究メンバー

竹原則子¹⁾ 佐藤裕子¹⁾ 丸山美香²⁾ 青木洋子³⁾ 岩永喜久子⁴⁾ 岡村典子⁴⁾

1) 新潟県立中央病院 2) 新潟県立がんセンター新潟病院

3) 新潟県立リウマチセンター(元新潟県病院局) 4) 新潟県立看護大学

4. 学内責任者

新潟県立看護大学 岩永喜久子

5. 研究経費執行額

	旅費	報償費	役務費	需用費	合計
執行額(円)	0	0	16,000	80,370	96,370

6. 研究の概要

経済産業省が 2006 年から提唱している「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の 3 つの能力(12 の能力要素)から構成されており、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力と定義されている。看護職は、これらの能力を身につけることで専門的な知識・能力を活用しながら、主体的に業務に取り組み、周囲と協調しながら成果を生み出していけるようになることが期待されている。そのため、社会人基礎力を意識的に育成していくことが、今まで以上に重要となってきた。そこで本研究は、施設に所属する看護職の社会人基礎力についての実態を明らかにすることを目的とする。その結果から、A 県立病院が必要とする人材を育成する一助となるものと考えられる。

まず、研究代表者が所属する新潟県立中央病院倫理審査委員会の承認を得た後、調査対象施設の看護部長より研究同意を得た。研究デザインは量的記述的研究で、郵送法による無記名自記式質問紙調査とした。質問紙は社会人基礎力を測る評価表(36 項目、尺度は 5 段階から構成)を経済産業省から許諾を得て使用した。さらに、日本看護協会の看護者の倫理綱領を参考に看護倫理から 10 項目を加えた質問紙を作成し、使用した。

結果は、配布数 1753 人、回収数 1315 人(回収率 75.0%)、有効回答数 920 人(有効回答率 70.0%)であった。全体合計点は 125,054 点、全体平均点は 2.7 であった。

7. 今後の学会発表の予定

- ・有 (日本看護管理学会)